

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	インバウンドと若者に特化したスノーリゾートづくり&PR事業
事業主体 (連絡先)	梅池高原観光協会 0261-83-2515
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,856,800円 (うち支援金: 2,142,000円)

#### 事業内容

1、大学生向けPRの実施  
 ①梅池食遊チラシ・ポスターの制作  
 ②梅池高原雪の祭典ポスターの制作  
 2、インバウンド向けPRの実施  
 インバウンド向け町内回遊PRのタウン誌を制作・配布  
 3、梅池ラダーナイトイベントの実施  
 梅池ラダーナイトチラシ・ポスター・のぼりばた・チケット制作。大抽選会や付帯イベントも実施。  
 上記大きく3つの事業を行った。全ての事業において松本大学のホスピタリティ学部との意見交換・イベント協力にて産学連携を図り、また小谷村に派遣され梅池高原担当となっている支援員を中心に行う初めての事業だったが、計画的に円滑に行った。



【雪の祭典イベント】

#### 【目標・ねらい】

- ①魅力的なスノーリゾート作り
- ②スキーシーズン集客増
- ③インバウンド集客拡大
- ④大学生・初めて層の集客拡大

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

平成26年11月に白馬村を震源地とする大規模な地震という震災に見舞われ、冬季シーズンの集客を中心に、各事業の実施に大きな影響が出てしまったが、事業を遂行することで、2・3月の集客盛り返しにつながった。来シーズンに向けても旅行客・旅行会社から引き合いも多数きている為、早い時期から誘客促進を行い更なる拡大が期待できる。

※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

予定していた以上の効果を得られるよう動いたが、震災による被害が大きく、数値としての効果を見ることが出来なかった為。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

インバウンド対策は今後の梅池高原の生命線であると考えている為、タウン誌制作を引き続き行い、今後は誘客促進に結び付ける為のツールとしてブラッシュアップしていく。また各企業と連携し、初めて層に関しての訴求を行い固定ファンの開拓を行っていく。梅池ラダーナイトイベントは店舗数の拡大・期間の延長を視野に入れ検討していく。松本大学との連携により若者目線の宣伝活動が必要だと認識した。今後も松本大学だけでなく多方面の大学・専門学校と連携し、宣伝・イベントの制作をしていきたい。